

セッション名	演題番号	氏名	1.筆頭著者の所属機関名	演題名
プレナリーセッション1	PL-01	平岡 淳	愛媛県立中央病院 消化器病センター内科	肝予備能良好なBCLC-B肝細胞癌に対するTACE予後予測・腫瘍マーカースコアの有用性: 肝癌研究会データベース解析
プレナリーセッション1	PL-02	多田 俊史	大垣市民病院 消化器内科	ソラフェニブ投与例におけるALBI gradeとChild-Pugh分類の比較—多施設共同研究—
プレナリーセッション1	PL-03	高田 昇	金沢大学附属病院	レゴラフェニブの適格性からみたソラフェニブ後治療経過の検討
プレナリーセッション1	PL-04	小尾 俊太郎	帝京大学ちば総合医療センター 内科	Lenvatinibによる肝細胞癌治療の初期報告
プレナリーセッション1	PL-05	山下 竜也	金沢大学先進予防医学研究センター	切除不能な肝細胞癌患者を対象としたレンバチニブとソラフェニブを比較する第3相試験(REFLECT)における日本人部分集団解析結果
プレナリーセッション1	PL-06	木下 瑞希	東京大学医学部附属病院 消化器内科	肝癌根治治療後DAA治療後の進行再発例に関する検討
プレナリーセッション2	PL-07	土谷 薫	武蔵野赤十字病院	レゴラフェニブ治療におけるバイオマーカーの検討
プレナリーセッション2	PL-08	上村 顕也	新潟大学 大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野	手足症候群に対するヒスチジンの効果
プレナリーセッション2	PL-09	小林 正宏	虎の門病院 肝臓内科	REFLECT試験結果を用いた、日本の切除不能肝細胞癌におけるレンバチニブのソラフェニブに対する費用効果分析
プレナリーセッション2	PL-10	日下部 裕子	千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学	エピジェネティックなソラフェニブ抵抗性獲得機序の解明とヒストンメチル化酵素EZH1/2阻害剤併用の意義
プレナリーセッション2	PL-11	浅岡 良成	帝京大学内科	肝細胞癌の治療経過中におけるc-Met発現変化に関する検討
プレナリーセッション2	PL-12	西田 直生志	近畿大学 医学部 消化器内科	PD-L1陽性肝癌の特徴と腫瘍免疫環境に関する解析